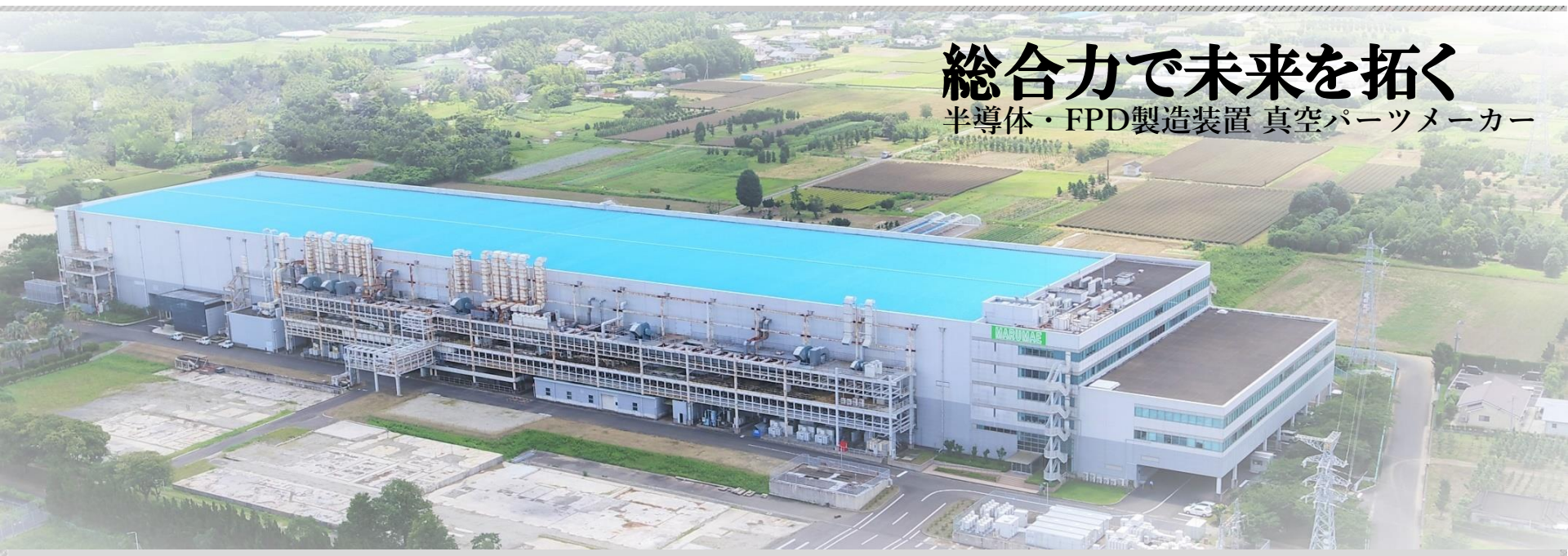


東証(TSE):6264

株式会社マルマエ
2022年8月期決算 補足資料

2022年10月7日

総合力で未来を拓く
半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



1. 決算概要

PL分析

PL

	2021年8月期 累計期間		2022年8月期 累計期間		対前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	
受注高	6,241	—	9,190	—	47.2
受注残高	1,804	—	2,616	—	45.0
売上高 ※	5,369	100.0	8,585	100.0	59.9
売上原価 ※	3,552	66.2	5,426	63.2	52.8
売上総利益	1,817	33.8	3,158	36.8	73.8
販売管理費	610	11.4	796	9.3	30.6
営業利益	1,207	22.5	2,361	27.5	95.6
経常利益	1,200	22.4	2,366	27.6	97.2
特別損益	22	0.4	66	0.8	196.6
当期純利益	902	16.8	1,817	21.2	101.3
EPS (円)	70.51	—	142.58	—	102.2

Point

①受注状況

- 半導体分野：7,027百万円
(対前年同期：44.9%増)
- F P D分野：1,461百万円
(対前年同期：25.9%増)
- その他分野：700百万円
(対前年同期：204.9%増)

②売上高 ※

- 対前年同期59.9%の増加
(分野別の詳細は次頁)

③売上原価 ※

- 材料費 ※：726百万円増加
(対前年同期：86.0%増)
- 外注加工費：639百万円増加
(対前年同期：96.1%増)
- 労務費：473百万円増加
(対前年同期：43.1%増)
- 減価償却費：132百万円増加
(対前年同期：23.0%増)

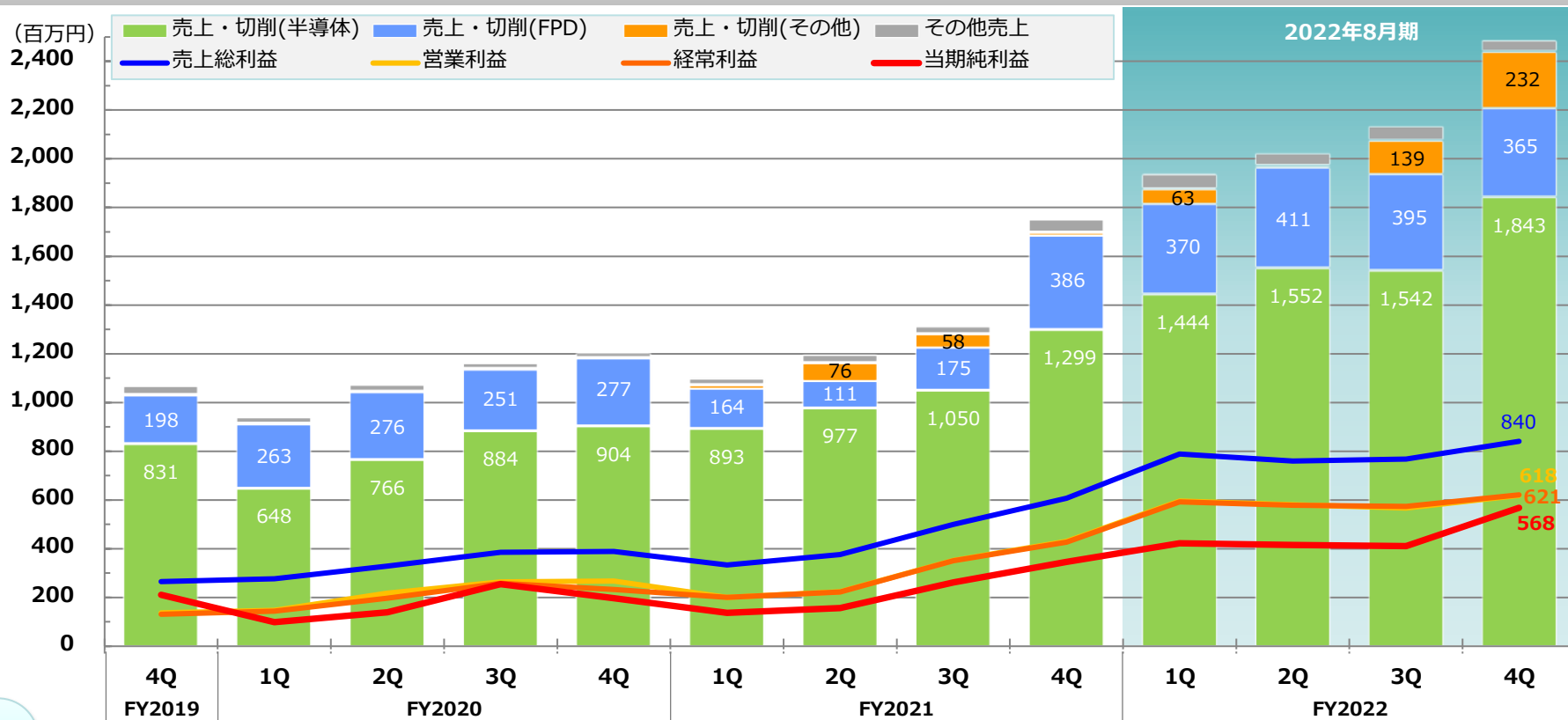
④販売管理費

- 研究開発費：74百万円増加
- 販管人件費：59百万円増加

※ 2022年8月期累計期間の売上高、売上原価および材料費の対前年同期増減率については、「収益認識に関する会計基準」等を適用する前の前年同期の実績値を基に算定しており、次頁以降も同様に算定しております。

1. 決算概要

四半期業績の推移



Point

①売上高は、半導体好調、太陽電池向けも貢献

- 半導体分野：6,382百万円（対前年同期：51.2%増）
 - ・半導体分野は市場環境良く過去最高水準
- FPD分野：1,542百万円（対前年同期：84.0%増）
 - ・市場横ばいもシェア拡大で高水準を維持

- その他分野：445百万円（対前年同期：164.7%増）
 - ・太陽電池製造装置部品の受注が増加

②損益面は機械稼働の向上により増益

- ・4Qは設備投資の補助金収入、税額控除により増加
- ・当期純利益1,817百万円（対前年同期：101.3%増）

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、Pointのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

1. 決算概要

B/S分析

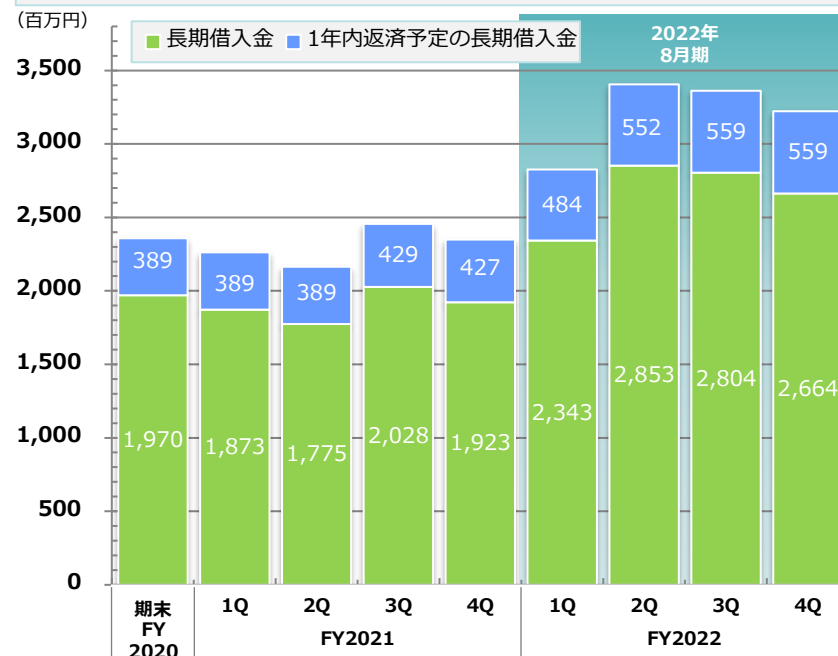
B/S

	2021年8月期 会計年度末 (百万円)	2022年8月期 会計年度末 (百万円)
流動資産	4,813	6,591
現金及び預金	2,505	3,011
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	1,685	2,498
棚卸資産	597	1,062
固定資産	4,929	5,961
建物・土地	2,358	2,517
機械及び装置	2,273	2,971
流動負債	1,452	2,504
有利子負債(短期)※	427	559
固定負債	1,963	2,749
長期借入金	1,923	2,664
負債合計	3,415	5,253
純資産合計	6,327	7,299
総資産	9,742	12,552

※ 有利子負債(短期)：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① **資産：12,552百万円(前期末比:2,810百万円増加)**
 - ・有形固定資産：1,000百万円増加
 - ・売上債権：812百万円増加
- ② **負債：5,253百万円(前期末比:1,838百万円増加)**
 - ・長期借入金：740百万円増加
 - ・未払法人税等：307百万円増加
- ③ **純資産：7,299百万円(前期末比:971百万円増加)**
 - ・利益剰余金：1,355百万円増加
 - ・自己株式の取得等により396百万円減少
 - ・自己資本比率：64.9%→58.1%



2. 事業環境

今後の販売分野別の環境と方針等

半導体分野

- ◆ 半導体市場の需要鈍化を受けて装置市場環境は停滞傾向
- ◆ 当社23年8期は1Q好調も、2～3Qは市場減速の影響見込む
- ◆ 戦略的に消耗品と新規顧客向けに注力し、受注拡大狙う

FPD分野

- ◆ OLEDはG6 G8で計画有 G10.5液晶は来年後半まで停滞
- ◆ 全般的に市場は停滞傾向
- ◆ 市場停滞の中でも新品种獲得でシェア拡大狙う

その他分野

- ◆ 太陽電池向け装置活発 G8以上の大型パネル案件も
- ◆ FPD分野の余力活用し営業活動活発化
- ◆ 一部外注化は継続しながらも内製比率改善

3. 2023年8月期の業績予想

来期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

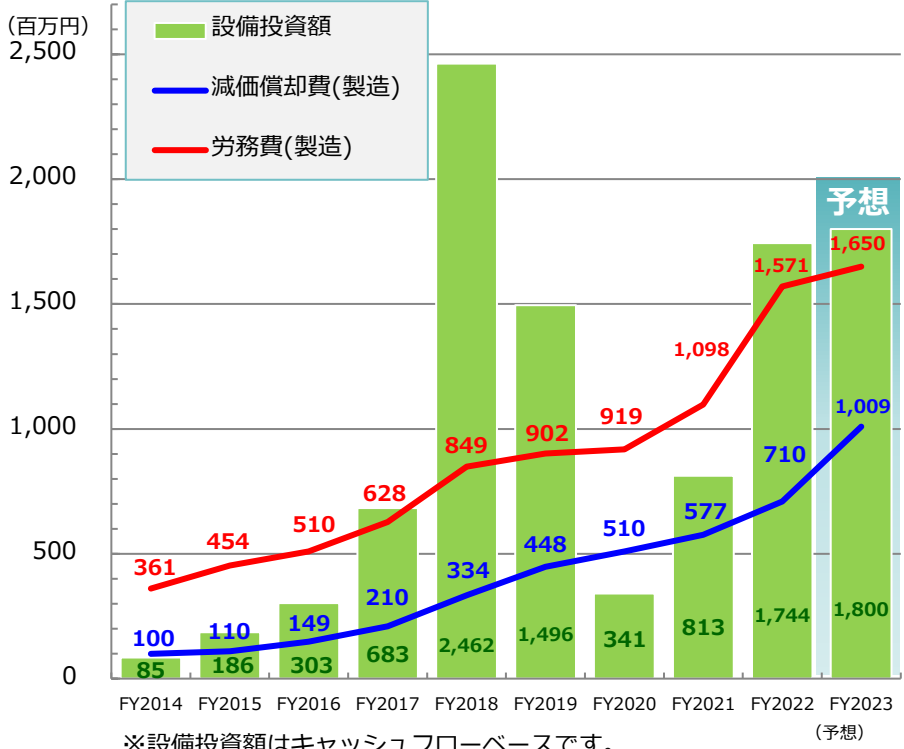
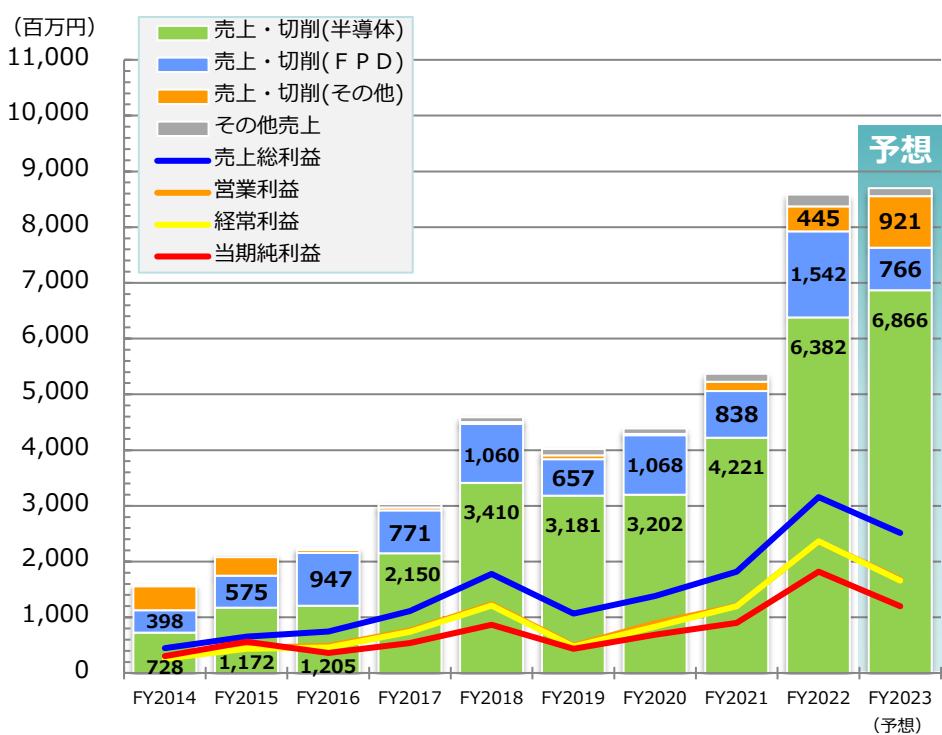
業績
予想

2023年8月期 業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
第2四半期(累計)	4,180	780	770	556	44.03
通期	8,700	1,680	1,660	1,200	95.03

Point

- ✓ 市場停滞も売上高は高水準維持
- ✓ 損益は設備投資と人員増先行で利益率低下
- ✓ 増強済みの生産能力活かしシェア拡大
- ✓ 新規設備投資は市場環境に合わせて実行

前期積極的設備投資による償却負担増等で利益率低下。中計想定内。



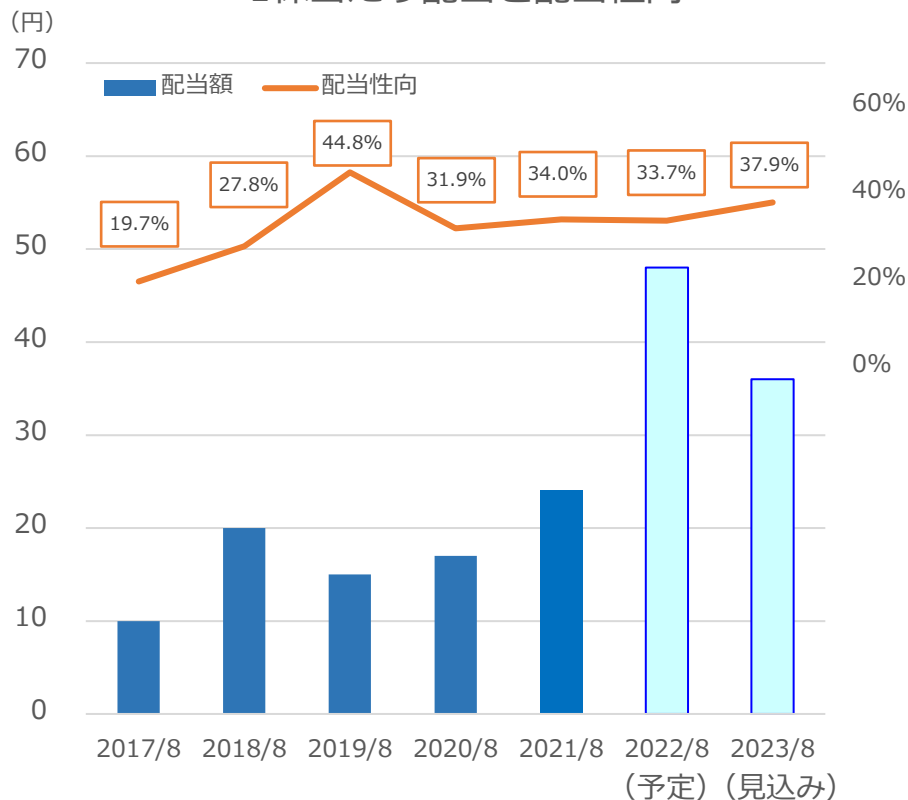
3. 2023年8月期の業績予想

株主還元

配当等

実績と予定

1株当たり配当と配当性向



配当政策

- ✓ 新中期事業計画で35%以上の配当性向を予定
- ✓ 最低配当額を年20円(半期10円) 配当安定化

株主優待

- ✓ 半年以上継続保有の株主様へ1,000円分のオリジナルQuoカード提供

当期配当

- ✓ 2022年8月期は上期22円、期末26円の合計48円/株の配当予定に増配
- ✓ 2023年8月期は上期18円、期末18円の合計36円/株の配当予定
- ✓ 設備投資続くが、資本効率の向上も考慮し、株主還元は高水準に行っていく方針

4. 中期事業計画「Innovation2025」

定量的目標

中期事業計画 Innovation2025

数値目標

売上高140億円 営業益42億円

ROIC

資産ベースROIC 23%
負債ベースROIC 19%

配当性向

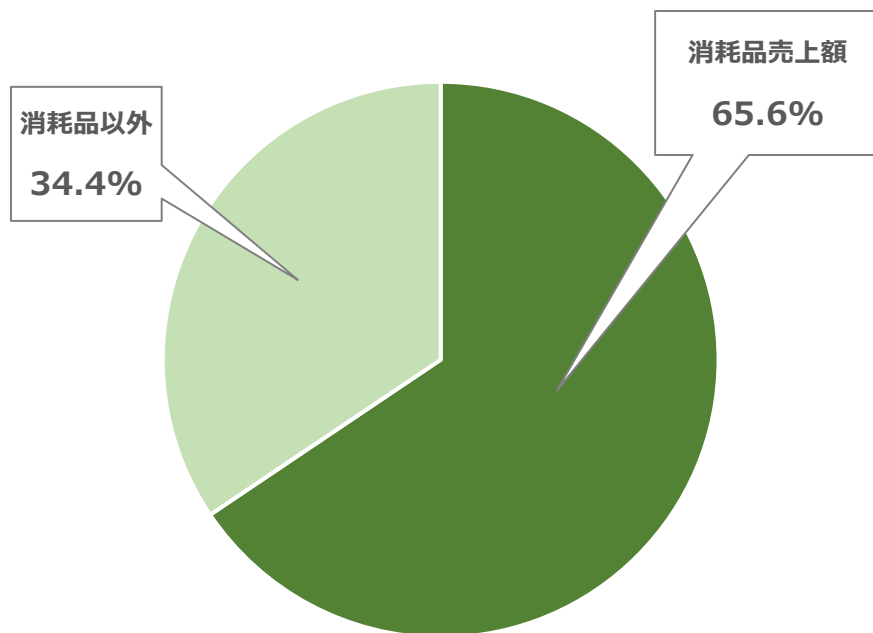
配当性向 35%以上目標
最低配当額 年間 20円※

※ただし最終損益が赤字となる場合は見直しを行う

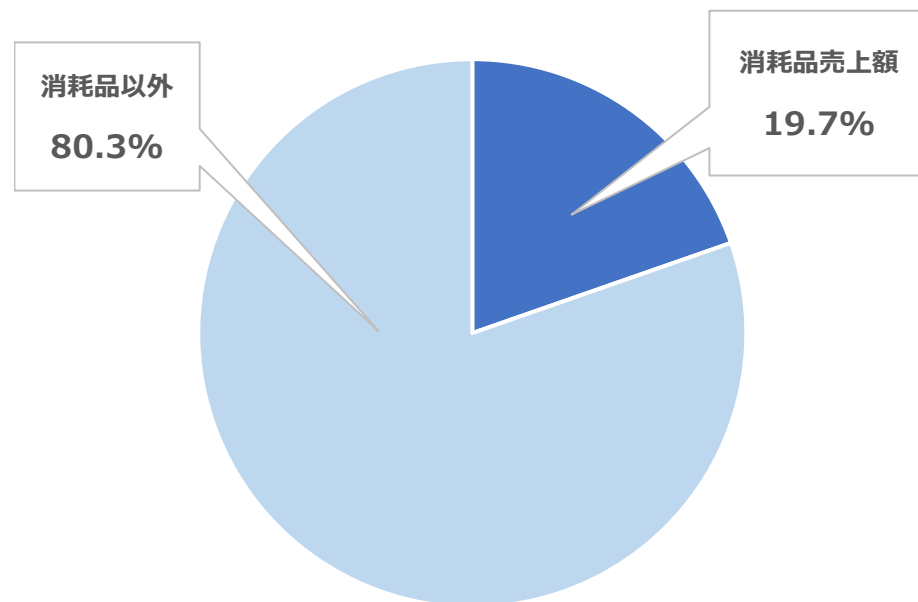
4. 中期事業計画「Innovation2025」

戦略 ～消耗品受注の拡大～

2022/8期 半導体分野



2022/8期 FPD分野



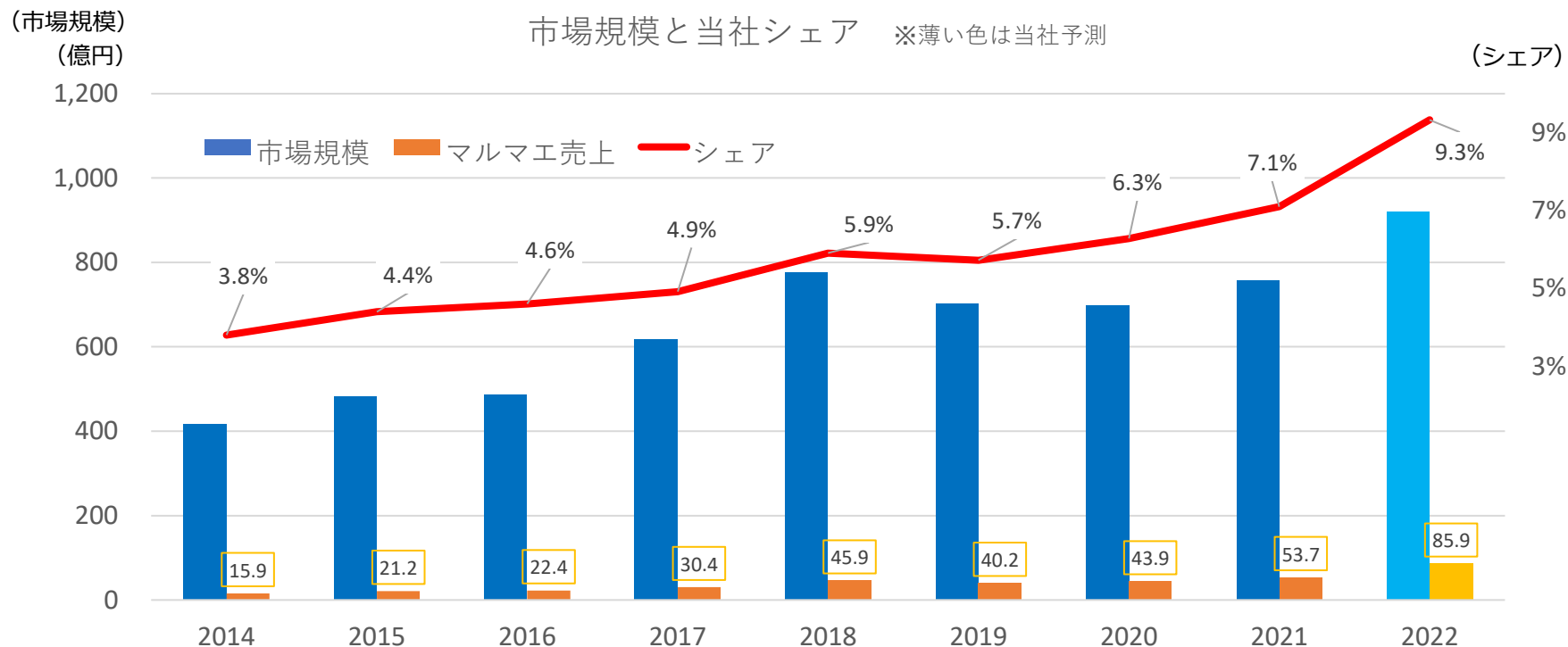
安定化戦略

消耗品強化で受注安定化狙う

※ 新顧客増加と新規装置の出荷拡大で、半導体分野消耗品比率若干低下

4. 中期事業計画「Innovation2025」

当社の属する市場とシェア推移



成長性

- ✓ 当社の属する市場は、2022年に半導体もFPDも共に好調であったことから最高値の見込み。
- ✓ 同業他社との競争のなか、当社は生産能力増強によってシェア拡大を続け、2022年は未確定ながらシェアトップ見込み。

- ・本項の市場規模データは、当社と類似した半導体とFPD製造装置の真空パーツを生産する企業で、当社が認識する一部（当社含30社）の企業について、各暦年に属する決算期末ごとの売上高を調査機関の情報を基に集計したものです。
- ・2022のデータにおいて、決算月の違いから現時点でデータ未開示の会社については、各社の受注環境をもとにした当社予測値が含まれます。

5. サステナビリティ経営 Sustainable Management

気候変動への対応

ESG

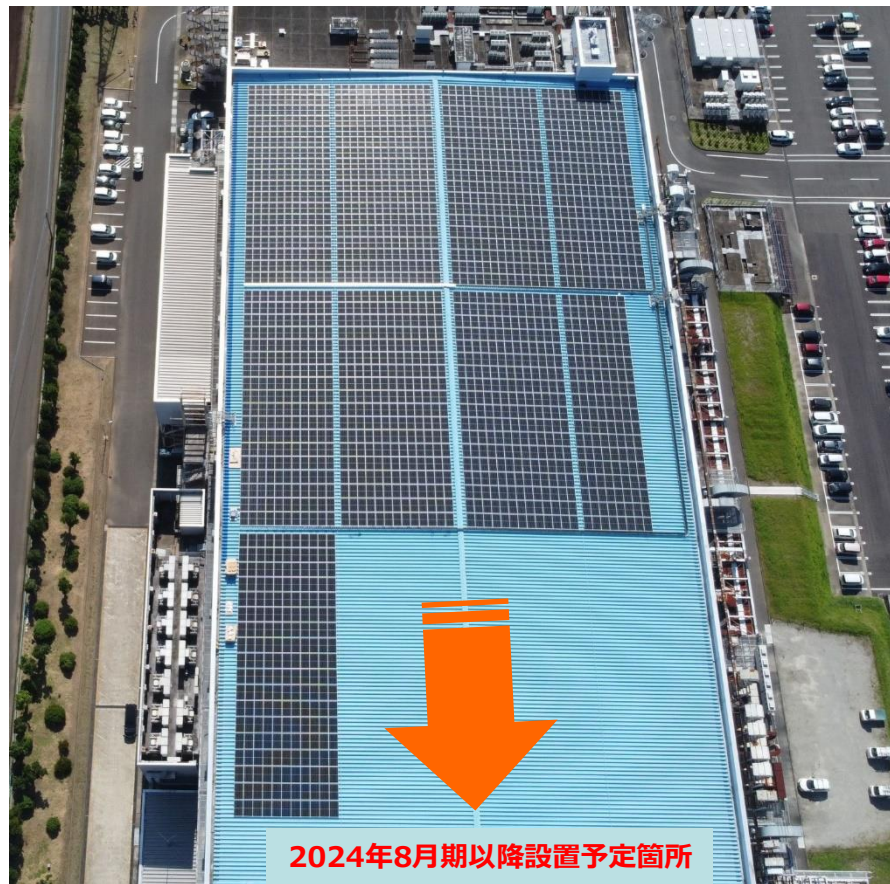
カーボンニュートラルへのロードマップ

カーボンニュートラルの実現に向けた
気候変動への取り組み



5. サステナビリティ経営 Sustainable Management

地球環境への配慮



2024年8月期以降設置予定箇所

2022年9月出水事業所（本社）
太陽光パネル設置の様子



2022年1月関東事業所
太陽光パネル設置の様子

- ✓ 出水・高尾野・関東の全事業所に自社使用用太陽光パネル設置
- ✓ 2026年8月期まではパネル優先に増設。27年以降は蓄電池も追加計画

5. サステナビリティ経営 Sustainable Management

人材関連

ESG

働き方改善、方針策定、人材育成

取組

人材戦略委員会発足

- ・ 技術を支える人材育成：高度人材の確保と定着化
- ・ 従業員満足度向上と、技術者育成の両立狙う

各事業所の従業員代表含め議論進める



年間休日数の増加（ワークライフバランス向上）

2022年8月期 101日 → 2023年8月期 121日

- ・ 稼働時間維持のため新シフト体制も並行始動

ポリシー等の公表

- ・ 企業市民／慈善活動戦略、多様性方針、RBA基本方針
当社ウェブサイトの「サステナビリティ」ページへ追加

今後

人材育成

- ・ 2023年8月期よりプログラマー育成PJの立ち上げ

5. サステナビリティ経営 Sustainable Management

ガバナンス

ESG

ESGスコア、リスク管理、多様性推進

取組

ESGスコア

- ・当社は、2022年のS&PグローバルによるCSA(コーポレートサステナビリティ評価)で**29点**(100点満点中)を獲得【前回11/100点。同業種の平均スコア22/100点】

今後

リスク管理強化

- ・情報セキュリティ委員会の立ち上げ
リスク回避(情報流出リスク、インサイダー、事故防止等)や機密情報の厳正な管理体制構築等で企業価値の毀損防止

取締役会の多様性推進

- ・多様性を持つ社外取締役増員で監督型取締役会の強化
- ・サステナビリティ経営の積極化

5. サステナビリティ経営 Sustainable Management

人的資本

■ マルマエの強みを支える技術力は人の能力の集合



- ✓ 労働環境や人事評価制度の向上と多様化推進により人材力の最大化を図る
- ✓ イノベーションを生み出す人材力強化で企業価値向上を狙う
- ✓ 経営陣も多様化推進により、ガバナンス強化と経営力向上推進

私達は持続可能な経営を念頭に
技術で社会貢献できる企業を目指します

注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

Company Profile

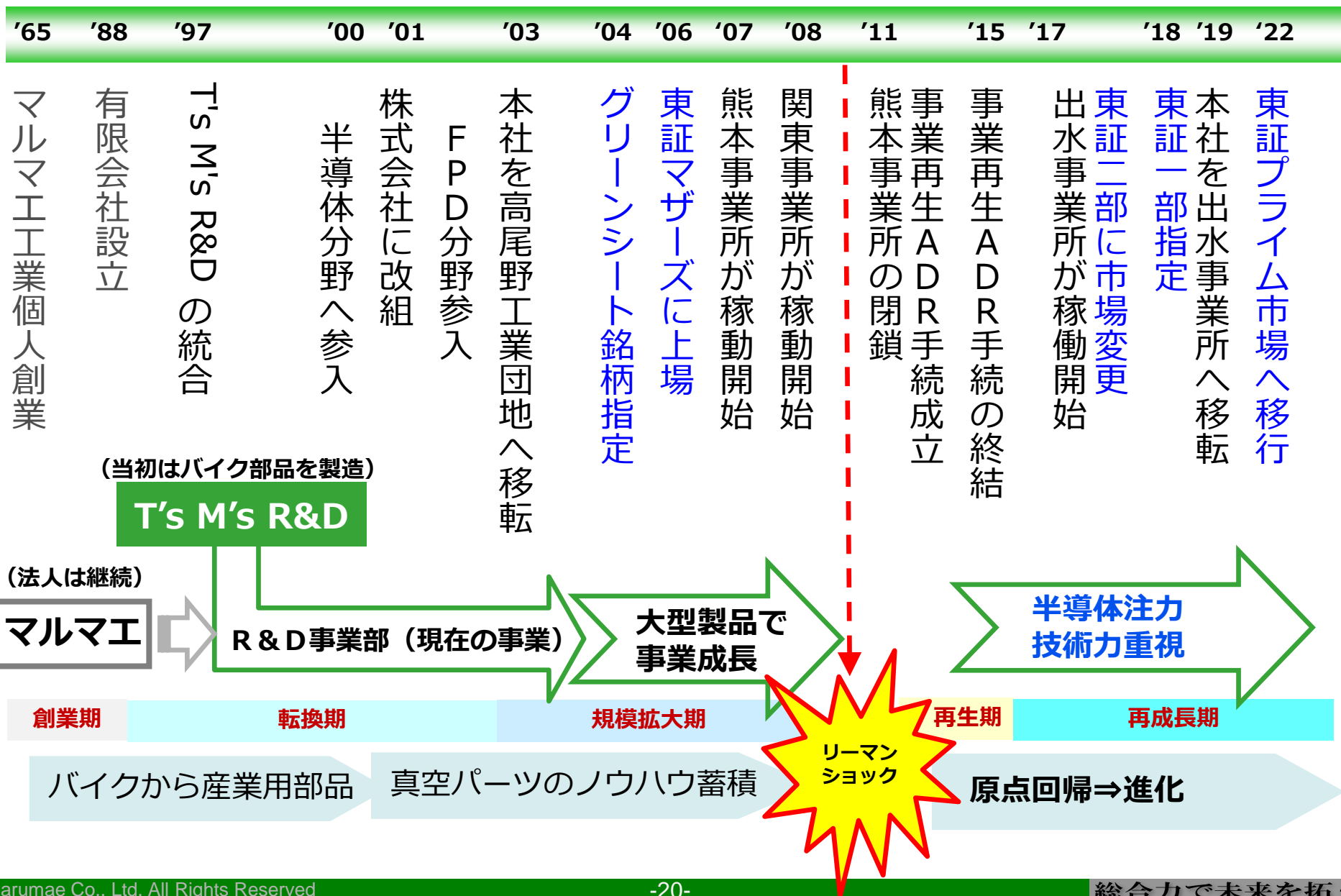
企業情報

参考資料（現事業の始まり）

現在の事業はレース活動から始まりました

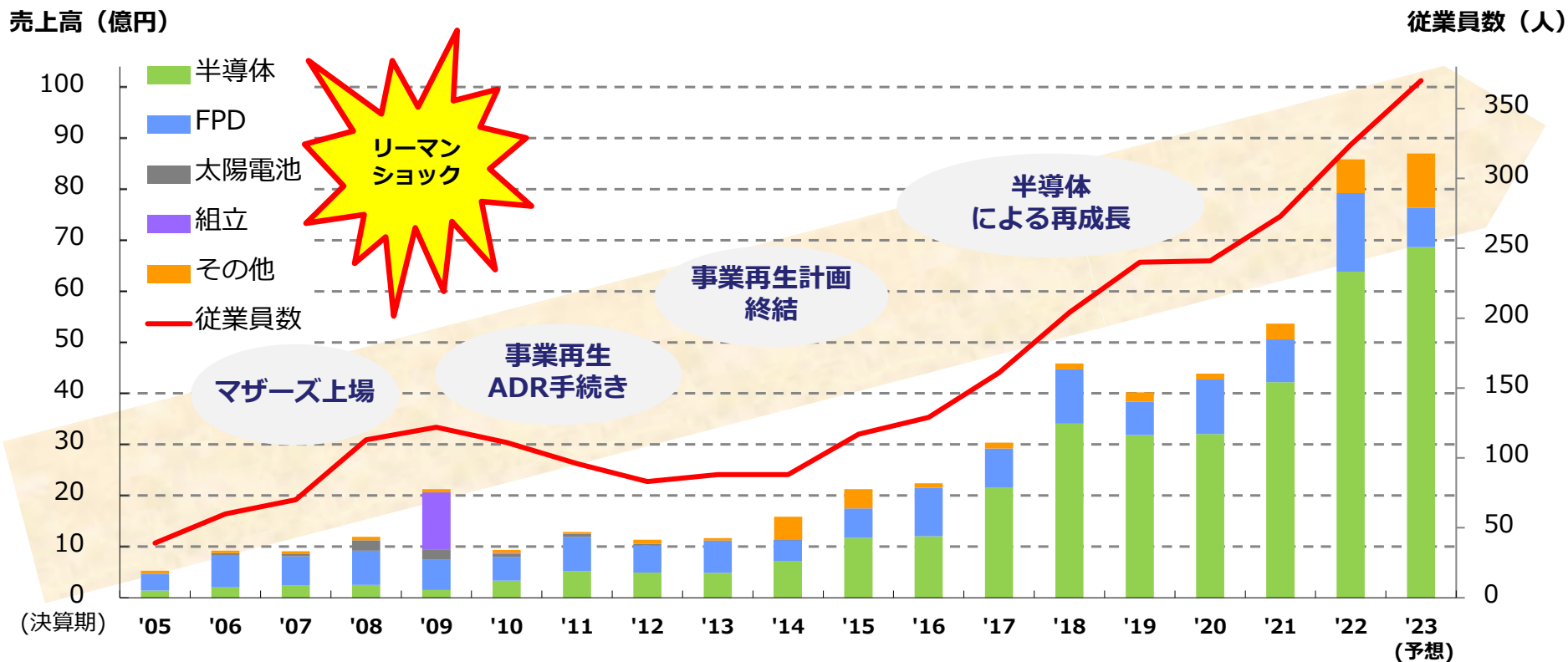


参考資料（沿革と事業変遷）



参考資料（沿革と事業変遷）

事業成長と成長ドライバー



規模拡大

再構築

再成長

技術力
醸成

設備大型化
生産力拡大
組立事業

FPD
太陽電池

大型設備整理
生産力再配分
真空パーツ強化

半導体強化
設備投資再拡大

参考資料（現在の事業内容）

主要工程・主要製品

当社製品は半導体・FPD製造装置の心臓部を支えています

主要工程（半導体）

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
洗浄

（FPD）

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
スパッタ
洗浄
イオン注入

主要製品

真空チャンバー
シャワーヘッド
排気板
静電チャック
ヒーター類
上部電極
ターゲット
搬送系パーツ類
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）	発行済株式総数	13,053,000株
設立	1988年10月	単元株式数	100株
資本金	12億4,115万円（2022年8月31日現在）	株主総数	12,777名
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役（監査等委員）外西 啓治 取締役 安藤 博音 取締役（監査等委員）桃木野 聡 取締役 門田 晶子 取締役（監査等委員）山本 隆章 取締役（監査等委員）宮川 博次	大株主 （普通株式）	前田 俊一 4,822,015株 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 772,500株 前田 美佐子 504,000株 川本 忠男 212,900株 前田 良子 180,000株 五十嵐 光栄 168,000株 マルマエ共栄会 124,700株 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019 120,200株 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY FOR STATE STREET BANK INTERNATI ONAL GMBH, LUXEMBOURG BRANCH ON BEHALF OF ITS CLIENTS: CLIENT OMNI OM25 98,215株 野村証券株式会社 78,500株
従業員数	324名 うち 臨時雇用者等 145名（2022年8月31日現在） 他 派遣社員63名	（注）自己株式が426,051株あります。 （2022年8月31日現在）	
所在地	出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地 高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機械、精密機器の設計、製造、加工 ・精密機械部品の設計および製作 ・産業および医療機械器具の設計、製造、販売 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸 		
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は究極を目指し ・競争と協調を尊び ・技術注力企業として社会に貢献する <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>		